

2019年度 大阪府立大学 授業公開講座(前期) 全15回(予定)

番号	講座名	講師	曜日	コマ	開講日	定員
1	公衆衛生学 I	星 英之	月	1	4月 8日	15
2	中国古典語 I	大平 桂一	月	2	4月 8日	5
3	中国の思想	大形 徹	月	3	4月 8日	5
4	ジェンダーとヨーロッパ文化	村田 京子	月	4	4月 8日	7
5	陸域環境再生学	中山 祐一郎	火	1	4月 9日	10
6	心の病理学(精神疾患とその治療)	総田 純次	火	3	4月 9日	5
7	教育福祉学への招待	嵯峨 嘉子	火	4	4月 9日	10
8	家族社会学	田間 泰子	火	5	4月 9日	5
9	精神保健学	三田 優子	水	1	4月10日	5
10	教育の思想と歴史	森岡 次郎	水	3	4月10日	5
11	環境生物学	中山 祐一郎	金	2	4月12日	10
12	公的扶助論	嵯峨 嘉子	金	3	4月12日	5
13	植物工場科学	和田 光生	8月9日(金)13日(火)14日(水) 1~5コマ			10

■授業時間
 1コマ 9:00~10:30 2コマ 10:40~12:10 3コマ 12:55~14:25 4コマ 14:35~16:05 5コマ 16:15~17:45

対象 全期間を通じて受講できる方

受講料 1講座 5,000円

会場 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 各教室
 ※車両での来学はご遠慮いただいておりますので、公共交通機関をご利用ください。

申込方法 **お申込は、お一人様1講座のみとさせていただきます。**

【1】府大Webサイト「お申込フォーム」

大阪府立大学公開講座 検索



【2】「Eメール」または「官製ハガキ」

- ①ご希望の講座名(1講座のみ) ②氏名(フリガナ) ③年齢
 - ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥このチラシの入手先
- をご記入の上、下記宛先へ。

✉ jkz19@ao.osakafu-u.ac.jp 件名「授業公開講座」係
 (注意)・半角英数で入力・PCまたはスマートフォンからお申込ください。

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
 大阪府立大学 C5棟 地域連携室「授業公開講座」係

申込先 3月8日(金)必着

※申込者多数の場合は抽選にて受講者を決定します(結果は全員に通知します)。
 ※抽選結果は、3月22日(金)までに発送予定です。

問合せ先 大阪府立大学 地域連携室 ☎072-254-9942

交通アクセス

- 南海高野線「白鷺駅」下車 南西へ約0.5km
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車 南東へ約1.0km
- 地下鉄御堂筋線「なかもず駅」5号出口から南東へ約1.0km



大阪府立大学
 OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY



授業公開講座



この公開講座は、一部の授業科目を一般の皆様へ公開し、学生とともに受講していただく講座です。

10回以上受講された方には、修了証を交付(希望者のみ)

※講義概要については、中面をご覧ください。

月 ¹	<h2>1 公衆衛生学 I</h2>	現代システム科学域
	公衆衛生学 I では、ヒトが健康であるために必要な疾病予防に関する全般的な知識について学びます。中でも特に、健康に関する概念、環境と健康、疫学手法、主要な疾病の動向とその実践的な対策、さらに高齢者、母子など領域別の保健対策に関する基礎的な考え方を身に付けることを目標とします。(注) 昨年度とほぼ同じ内容の講義です。	星 英之 准教授

月 ²	<h2>2 中国古典語 I</h2>	高等教育推進機構
	中国の古典を中国語で音読し、味わいます。授業の初期に中国語の発音、文法を温習します。発音は私が作成した教材、文法は小川環樹先生、西田太郎先生の『漢文入門』の枠組みを借りた教材を使います。中国語未修者も歓迎いたします。読む内容は、『史記』、『三国志』、『世説新語』、『資治通鑑』、『説文解字』、柳宗元の山水記、議論文、仏典などです。慣れ親しんだ漢文訓読と現代中国語による直読を併用します。現代中国語による直読は皆さんを作者の心理により近づけるものと確信しています。奮ってご参加ください。	大平 桂一 教授

月 ³	<h2>3 中国の思想</h2>	高等教育推進機構
	長い歴史をもつ中国では数多くの思想が生みだされ、日本人にも大きな影響を与えています。孔子や孟子の儒家、老子や荘子の道家、墨子の墨家、韓非子の法家などの思想はとても興味深いものです。同時に中国人人々が知らず知らずのうちに形成していった、いわば中国人全体の思想ともいえる死生観や魂魄概念(魂魄はどこにあるのか、魂の語源、肉体をぬげだす魂と髪型との関係、坐忘、体内に入りこむ悪霊、侵入する鬼霊、疾病観と魂、悪霊をはらう方法)などについても考察します。これらもまた日本人の生活や考え方に大きな影響を与えているのです。	大形 徹 教授

月 ⁴	<h2>4 ジェンダーとヨーロッパ文化</h2>	高等教育推進機構
	西欧において女性は、しばしば「マドンナ」か「男を誘惑する女(娼婦)」か、どちらかに分けて考えられてきました。「マドンナ」は慎ましく羞恥心に満ちた処女、「男を誘惑する女」は「宿命の女」と呼ばれる女性像と重なります。本講座では、ヨーロッパ文学において「宿命の女」がどのように描かれているのか、絵画とも絡めながら、ジェンダーの視点で探っていきます。取り上げる作品はキーツ『つれなき美女』『レイミア』、バルザック『砂漠の情熱』『従妹ベット』、フローベール『サランポー』『ヘロディアス』、オスカー・ワイルド『サロメ』など。	村田 京子 教授

火 ¹	<h2>5 陸域環境再生学</h2>	現代システム科学域
	人と自然環境とが共生し、持続可能な環境形成を実現化させるための環境再生について、とくに損なわれた自然を回復させることを目的とした自然再生事業を中心にすえ、自然再生に関わる基礎理論を習得させ、自然再生事業の実際と問題点を理解させることを目標にしています。具体的には、自然再生事業の必要性、絶滅危惧種と侵略的外来種、自然再生事業の指針(自然再生事業の対象、基本認識、原則、順応的管理、合意形成)、自然再生推進法について講義します。さらに、森林の再生、高山生態系の復元、河川・湖沼の再生、農業生態系の修復、里地里山の現状と再生、公園緑地の意義と計画、獣害と管理、健全な都市生活を営むための都市環境づくりについて、具体的な事例を紹介しながら説明します。	中山 祐一郎 准教授

火 ³	<h2>6 心の病理学 (精神疾患とその治療)</h2>	現代システム科学域
	昨今、メンタルヘルスの重要性が強調されるようになり、保健所を中心としたうつ病や自殺予防対策、企業などでの管理の強化などの政策が施行されています。本講義では、将来臨床心理学を専攻する学生のみならず、比較的広い層を対象に、いわゆる「心の病氣」について概説します。取り上げる予定は、認知症やせん妄といった高齢者に多い精神障碍、統合失調症やうつ病という従来精神医学の主要な対象であった精神障碍、20世紀の終わりごろからクローズアップされてきたパーソナリティ障碍、精神分析の主なフィールドであった神経症、ベトナム戦争を契機に注目を浴びるようになった心的外傷性障碍などです。それぞれの精神障碍について視聴覚資料も用いつつ病像や精神医学の一般的な知見を紹介したあと、講義者の専門領域である精神病理学や精神分析の立場からその心理学的メカニズムにも光を当てたいと思います。	総田 純次 教授

火 ⁴	<h2>7 教育福祉学への招待</h2>	地域保健学域(教育福祉学類)
	この授業は、教育福祉学類が取り組んでいる教育内容について、その基本的視座と概要を学んでいただくものです。教育福祉学類では、人々の尊厳を尊重し、人を中心とした生涯の発達支援・生活支援を行う力を育成しようとしています。この教育目的の達成には、さまざまな専門的立場の相互理解や協働が不可欠です。そこで、授業では学類教員がオムニバス形式で、それぞれの専門的立場から支援の必要性について講義します。テキストとして『教育福祉学への招待』(山野則子・吉田敦彦編、せせらぎ出版、2012年)を配布し、それを参照しながら授業を進めます。受講生は、テキストを授業の前後に読み、テキスト各章末と授業で示された参考文献を各自でさらに読み進めることで理解を深めていただきます。	嵯峨 嘉子 准教授

火 ⁵	<h2>8 家族社会学</h2>	地域保健学域(教育福祉学類)
	今、家族は大きく変化しています。この授業では、(1) 私たちのライフコースが家族とどのように関わるか、(2) 戦後日本における社会と家族はどのように変化したか、(3) これからの家族と社会はどのようにあるべきか、を学びます。テキスト(※)内容を解説する授業と、受講生が課題について意見を出し合う授業を1セットとして進めます。受講生は、テキストを購入し、予習としてテキストを読んでおく必要があります。授業後にはテキストを読み直し、理解をより深めてから、出された課題について調べたり意見をまとめるなど、課題に取り組んでいただく必要があります。※『問いからはじめる家族社会学―多様化する家族の包摂にむけて』(岩間暁子・大和礼子・田間泰子著、有斐閣、2015年)	田間 泰子 教授

水 ¹	<h2>9 精神保健学</h2>	地域保健学域(教育福祉学類)
	さまざまな視点から、精神保健についての基本的知識、考え方を理解することを目標とした授業です。なかなか理解が進まず、偏見にさらされることも少なくない精神障害が、現代社会において身近なものであって他人事ではないこと、さらには病名や障害だけにとらわれることなく、可能性をもった一個人としての精神障害者観を構築するために社会はどうあるべきか等を考える授業としたいと思います。	三田 優子 准教授

水 ³	<h2>10 教育の思想と歴史</h2>	地域保健学域(教育福祉学類)
	この講義では、教育という事象について、歴史的、哲学的観点から考察を行います。ここでのポイントは、現代の私たちが持つ「学校」や「教育」という狭義のイメージにとらわれないことです。教育思想史を概観し、教育哲学における議論の枠組みについて確認しつつ、現代的な教育課題や教育実践についても深めていきます。講義の全体を通じて、人間にとって教育とは何か、教育とはどのような営みか、という大きな問いについて考え続けてください。授業では講義形式のみならず、ディスカッション、グループワークなども数多く行う予定です。受講生には、受動的に講義を聞くだけでなく、積極的な授業への参加を求めます。	森岡 次郎 准教授

金 ²	<h2>11 環境生物学</h2>	現代システム科学域
	人間の生命や生活を支える生物多様性の意義や重要性を理解するために必要な生物学の基礎を習得することを目標に、生物の進化と絶滅の歴史を軸にして、生物の系統、構造、代謝、生殖、遺伝、生物と環境との相互作用について講義します。また、各回のテーマと関連する話題(食品のリスク、廃棄物・汚水の処理、病気、寿命、毒物、iPS細胞と再生医療、外来生物など)を通して、身の回りの問題を理解する上で生物学の知識や科学的な思考が重要であることを説明します。	中山 祐一郎 准教授

金 ³	<h2>12 公的扶助論</h2>	地域保健学域(教育福祉学類)
	本講義は、社会保障制度の最後のセーフティ・ネットとよばれる生活保護制度の役割と課題について理解を深めることを目的としています。具体的には以下の内容を予定しています。 <ul style="list-style-type: none">● 公的扶助制度の概念、役割● 公的扶助制度の歴史的展開(日本)● 生活保護制度の基本的な仕組み(目的、基本原理および保護の原則、保護の種類と内容、生活扶助基準額の算定方式、給付の仕組みと手続、被保護者の権利及び義務、不服申し立て、実施体制および財源、等)● 生活保護制度をめぐる近年の政策動向・生活保護制度の諸課題	嵯峨 嘉子 准教授

集中	<h2>13 植物工場科学</h2>	生命環境科学域
	★前期集中講義	和田 光生 講師
	完全人工光型の植物工場を主として、植物工場で植物を栽培する上で必要となる理論と技術について講述し、植物工場技術者として、あるいは応用技術研究者として必要となる知識の修得を目指します。植物工場の概要から始めて、植物生理学に基づいた環境調節法の基礎理論、各種要素技術、栽培技術、環境計測と制御、作業環境と作業負荷、栽培環境最適化法などについて説明します。受講に当たっては、高等学校卒業程度の生物学、物理学、化学および数学について理解できることが必要です。	



🕒 授業時間

1コマ	9:00～10:30	4コマ	14:35～16:05
2コマ	10:40～12:10	5コマ	16:15～17:45
3コマ	12:55～14:25		